

## 要請番号 (JL13917B05)

募集終了



| 国名  | 職種コード 職種  | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次              |
|-----|-----------|------|------|----|------|-------------------|
| サモア | G158 理科教育 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2018/1 ・ 2018/3 |

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ文化省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

アアナ・ナンバーツー中高等学校

#### 3) 任地 (ウポル島アポリマ) JICA事務所の所在地 (アピア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.5 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

ウポル島の西端に位置する公立の中高等学校(9-13年生)で、生徒数は350人。過去には中国人ボランティア教師が在籍し、理数科の指導にあたっていたこともある。現在、2代目の青年海外協力隊(数学教育)が活動している。年間予算は約360万円。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

教育省主導で実施された「基礎教育理数科改善プロジェクト」では、中高等学校における生徒の理数科学力の低さはもとより、教員の理数科知識の低さと教授法に問題があると指摘がされた。現在本校では従来からの暗記中心の授業が行われており、簡単な実験器具はあるものの、活用されることはなく、生徒の理解力と応用力は低い。教員の教授法助言や学生へ直接授業することにより、両者の学習能力アップを図りたいことから本要請に至った。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 理科の授業を行う(指導する学年は校長及び学科長と協議する)。
- 理科実験の環境を整備し、器具や方法などを検討してサモアで実施可能な実験を提案する。
- 同僚に対し、理解実験の方法を助言する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

黒板、机、椅子

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(女性:50歳代)  
同僚教員2名(女性:40歳代、カウンターパート)

活動対象者  
9-13年生の生徒(日本の中学2年-高校3年生)

#### 5) 活動使用言語

英語

#### 6) 生活使用言語

その他

#### 7) 選考指定言語

## 【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（理科））

[学歴]：（大卒） 備考：現地教師の条件

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

## 【特記事項】